



2004 ITU International Triathlon , Miyagi
2004 ITU インターナショナルイベント七ヶ浜大会
2004 ASTC Triathlon Asian Cup
2004 ASTC トライアスロン アジアカップ
2004 NTT Triathlon Japan Cup, 3rd Stage
NTTトライアスロンジャパンカップ第3戦
4th July 2004



「平野司(関西大学)ジャパンカップ(公式戦) 2連勝!!」

<男子>

エリート男子部門は、26人でスイムスタート。NTTジャパンカップ第2戦和歌山大会で、スイムの力を温存し、バイクは集団内を維持、ランで勝負の展開するという、新しいスタイルを築いた平野司が余裕のスイム1位でフィニッシュ。第2位集団は杉本宏樹(チームテイケイ練習生)、藤村大(チームゴーヤー)、ラウル・コルドバ(スペイン)、竹内鉄平(アラコ)、高濱邦晃(日本食研)が25秒差でフィニッシュ。バイクスタートでは、6人の第1集団を形成。

そのまま、3周回のバイクを終え、ラン勝負の平野司の理想通りの展開となる。ランスタートから飛び出した平野司は、ラン1周目で2位のコルドバに18秒差、高濱邦晃に30秒差をつけ、軽快に最終回に入り、1位フィニッシュ。2位には高濱。3位はコルドバとなった。

平野司は「オリンピック日本代表選手のランニングのタイムを意識して走りました。9月のワールドカップ蒲郡で優勝を狙います」と国内NO.1の座を意識したコメントを残した。

<女子>

エリート女子部門は、昨年のディフェンディングチャンピオンの大松沙央里(アラコ)がスイムを第1グループにつけ、得意のバイクではアップダウンのコースを縦横無尽に独走状態で走り、後続に2分30秒の差をつけて、ランに入った。

大松は、2004年前半戦の不調を吹き飛ばす好調なパフォーマンスで昨年に続き2連覇を達成した。2位には2004年好調の上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)。3位には高木美里(湘南ベルマーレ)が初めての公式戦のメダルを獲得した。

